



札幌市サッカースポーツ少年団連盟 広報紙
2022. 12. 15 No. 11

きずな

1部リーグ B ブロック

1部 B ブロックは、AGGRE U12(A)、Kitago アズベルデ、スポルティンク FC、真栄サッカー少年団、西園・福井野、SSS 札幌コラソン、NORTE 札幌 U12、アスルクラロ札幌 U12、北海道コンサドーレ札幌 BLACK の全 9 チームで戦いました。新型コロナの影響が残るものの 3 年ぶりに全試合が消化され、昇降格も行われる事もあって各チーム最後まで諦める事無く熱戦が繰り広げられました。

優勝は真栄サッカー少年団。身体能力の高い選手と技術力の高い選手のバランスが良く前線からの守備とショートカウンターを得意とするチームで勝点 36(リーグ全体 1 位)、総得点 39(リーグ全体 3 位)総失点 16(リーグ全体 3 位)得失点差+23(リーグ全体 2 位)

での優勝となり攻守の両面で高いレベルにあったと言えます。又、準優勝は西園・福井野が 3 位の北海道コンサドーレ札幌 BLACK との接戦を制しました。シーズンを通して安定感のある守備力が好成績に繋がっており、選手 1 人 1 人のフォアザチームの精神が浸透してとても良いチームでした。尚、この 2 チームは来期より 1 部 A ブロックへ自動昇格となりますので今後の更なる活躍を期待したいと思います。

今シーズンはスタートメンバーだけでなく交代で入って来る選手の出場機会も増え、どの選手が出ても質やレベルが落ちないチームが多かったと思います。6 年生だけでなく下の学年の選手達の活躍が目立ったシーズンでもありました。勝敗にこだわった中でも選手の出場機会の確保やコーチングなどベンチワークも素晴らしいチームが多く、保護者の観戦マナーや審判や相手チームに対するリスペクトなどもあり、シーズンを通して選手達が活発に活動する事が出来ました。素晴らしい試合をしてくれた選手の皆様と円滑なリーグ運営にご協力頂いた各チームの関係者の皆様にこの場を借りて感謝を申し上げたいと思います。

3部リーグ E ブロック

3部 E ブロックは、豊園、札幌常盤、手稲東 FC、北郷瑞穂、発寒、FC LIBERTA Del Salvia、北野ステラポラーレ、札幌ジュニアパープル、北園・美香保の 9 チームで行いました。

各チームとも声がよく出ていて、活気あふれる試合ばかりでした。E ブロックは実力が拮抗していて、試合を行うたびに順位が入れ替わる目まぐるしいものになりました。

その中で見事優勝を果たしたのは、北郷瑞穂です。9 番のサイドからの突破力と決定力、10 番の 2 手、3 手先を読んだ見事な守備力を中心に勝ち点 43 を獲得しました。

北郷瑞穂は 4 年生も精力的に試合に出場し、学年関係なくチーム一丸となって勝利に向かっている姿勢が素晴らしいと感じました。

北郷瑞穂だけではなく、E ブロックは 4 年生以下も試合に出場し、経験を積み来年、再来年を見据えたチーム作りをしているチームが多かったのが印象的でした。

最後に運営に携わり、近年のコロナ禍の中で、選手たちがサッカーの試合に集中出来るように、環境を整えようとするチーム関係者の皆様の姿に非常に感銘を受けました。そして、会場や各種変更等、快く応じてくれた各チーム関係者の皆様にこの場をお借りして深くお礼申し上げます。